

青葉通駅前エリアのあり方検討協議会
第5回ワーキンググループ 議事概要（利活用編）

日 時 令和3年12月22日（水）13:30～16:00
会 場 仙都会館8階会議室
主な内容 利活用編：視点、求められる機能・空間について
配布資料 次第

【資料A】本日の座席表

【資料1】利活用編

1. 本日の内容
2. エリアづくりの視点（案）
3. 視点を踏まえた求められる機能・空間（素案）
4. 市民参画イベント（案）
5. 社会実験（案）
6. 第2回協議会内容（案）
7. 第2回協議会後の予定（案）

○主な意見等

【視点全般について】

- ・視点として掲げられている内容は素晴らしいが、これをどのように実現していくかが明らかではない。
- ・示されている3つの視点はいずれも重要と思う。一方で、各視点の要素を踏まえて必要とされる機能・空間については幅広く記載されており、これをどのようにまとめていくかが大変かと思う。
- ・視点のまとめ方に意見はないが、仙台市のまちづくりの理念として示されている「挑戦を続ける、チャレンジしていく」という点や、仙台市がまちづくりの中で都市間競争に打ち勝っていくという点で、青葉通駅前エリアは重点的なエリアになってくると思う。
- ・仙台らしさについては、例えばデザイン等を訪れる人が持つイメージとどう合致させ、どう感じさせていくかが簡単なようで難しいことだと思う。

【視点1「仙台の顔」について】

- ・「仙台の顔」、「東北の顔」という部分が一番重要である。視点1、視点2ではなく、我々が目指す姿としての一番のポイントもこの部分なのだと思う。ただの顔として青葉通駅前エリアだけで完結させるのではなく、仙台らしさの一部をここで見せ、本物が見たければ他のエリアへも行ってくださいというようなことが必要ではないか。
- ・今後検討する「仙台の顔」が実現できれば東北のゲートとしての仙台駅前ができ、仙台駅前から市内各所への流れが生み出されるのではないかと思う。
- ・特に青葉通駅前エリアは仙台駅の正面に位置するエリアであり、この機会にここを起点と

して来街者を迎え入れられるような体制構築・整備に取り組んでほしい。

- ・「仙台の顔」に留まらず「東北の顔」くらい遠慮せず打ち出してもよいのではないかな。
- ・誰に対して仙台の顔あるいは仙台らしさをアピールするかについては国内外を問わない。
- ・「仙台の顔」は目で見ないと分からないものであり、言葉では伝わらない。路上空間、民間空間、建物いずれについても目を見て「仙台だ」ということが分かるつくりができるかどうかということが難しい問題としてある。
- ・「仙台の顔としてのエリア」という部分は重要と思う一方で、「仙台の顔として」の部分に様々な意味が込められているため、委員の方それぞれで持っているイメージが異なったり、意味が広すぎてイメージしにくかったりするということがあるのではないかな。

【視点2「多様な活動を生み出していく人中心のエリア」について】

- ・「多様な活動を生み出していく」とあるが、能動的に関わっている人が中心になるイメージがあるので、受動的な立場でも関わっていけるということも可能であれば謳ってほしい。
- ・人との交流や出会いを促していくという中で、仙台の外から来た方に仙台というまちと出会い、何かを感じていただき、さらにエリア内の我々自身がエリア内のもの同士でも結びついて新しいものを生み出していくというような意味合いを強調して出してほしい。

【防災に関すること】

- ・防災や減災という視点では、大きな災害が発生した場合に、東日本大震災の時に見られたような駅前の混乱をあり方検討を踏まえた整備により減らせるということのイメージが湧いてこない。
- ・周辺の開発と駅の防災・減災の考え方を連携させることも考えられると思うが、賑わいや交通処理の方に議論が集中している気がする。
- ・仙台は2011年に大震災を経験しており、単純に防災環境都市ということではないのではないかな。防災環境都市自体は上位概念としてあるものの、やはり目で見えることが大事である。悲惨な写真や品等を見せることが良いのか、あるいはその対極にあるイメージの形が良いのか等あるが、それらは今後の検討課題と思う。
- ・防災のことをいかに市民の方を中心として外から来られる方に向けた発信をしていくということを、空港を利用しても仙台駅にはだいたいの人があることから、仙台の最初の入口として、景観も含めて「映える」エリアにしてもらえたらと思う。
- ・防災・減災は視点としては示されていないものの、視点の上位概念あるいは視点から導き出される活動や検討すべきことの1つとして「安全、安心な場所」が示されている。これらのつながりが見えるように整理を進めてもらえばよいのではないかな。

【その他視点に関すること】

- ・東北は日本全国と比べるとインバウンドの伸び率が低く、ここを上げていかないと経済は発展しないという点で、インバウンドは重要な視点と考えている。
- ・空間の利活用から発展して、例えばエネルギー問題の解消に向けて、個々のビルで対応するよりエリアとして取り組む方が、スケールメリットが生まれて取り組みやすくなるといったことにも結び付けて考えたい。こうしたことも示されていくとよいのではないかと思う。機能・空間という部分ではなく視点の方でもう少し踏み込むとよいと思う。

【今後の検討課題について】

- ・具体性を補足するような資料の作りとするとわかりやすくなるのではないか。
- ・例えば、緑豊かな駅前空間や、防災という視点での駅前空間について他都市ではどのような事例があるのかなど、委員の方がイメージしやすくなるような情報を示すという工夫をしていただくと良いと思う。
- ・一時的に車道全面または片側だけ歩行者天国にする等、歩行者天国としての活用について今後検討していただきたい。
- ・フルモール化等により仙台駅から人を青葉通駅前エリアに誘導し、さらには中心部商店街等へ人の流れを広げていくことは、現在は人がいないところに人を流すという点では意味があることと思う。
- ・一方で、青葉通駅前エリアや商店街が魅力的な場所になればなるほど商店街等の人が更に減少するのではないか。
- ・仮に、仙台駅から青葉通駅前エリアに人を誘導できたとして、本当に他のエリアに人がさらに流れていくのかは、エリアの責任として議論をしていただきたい。このエリアの人がこのエリアのためだけに取り組むだけで終わってしまうのではないかということに不安視している。

【将来ビジョンについて】

- ・仙台の顔というだけではぼやっとしてしまうので、その下にさらにブレイクダウンしたものが来ると、ビジョンとして良いものになるのではないかと思う。
- ・デベロッパー等に建物の作りについて指導することは不可能なのではないかと思う。デベロッパーの考え方次第で建物のデザインは変わってしまう。仙台駅前の顔ということは理解できるが、本当にコントロールができるのか。
- ・少なくとも将来ビジョンを策定すれば、市からビジョンに基づいて検討してほしいという依頼が出来るのではないか。
- ・仙台として挑戦していくというワードがビジョンを取りまとめる際に理念として入ってくるとよいのではないかと思う。
- ・議論や社会実験の中で色々な人の意見を参考にしていくべき。

以 上